

ペリセアの刺激緩和効果

ペリセアは、刺激物(SDSなど)に対するの皮膚への刺激を緩和する

SDS / ペリセア固形分=5% / 0%

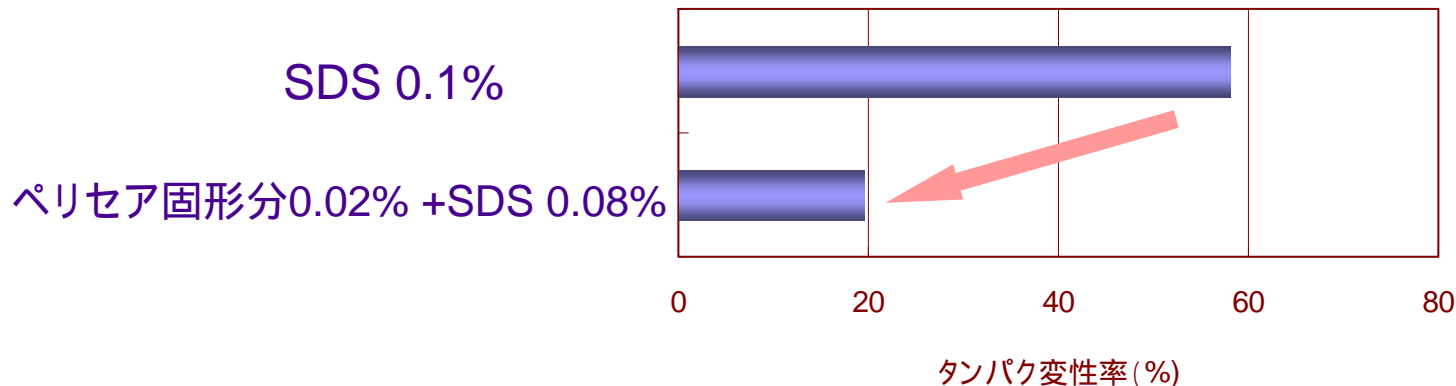


SDS / ペリセア固形分=4.25% / 0.75%



SDS単独では、紅斑、かゆみ、落屑生成が確認されたが、ペリセアを併用すると、刺激緩和が見られた。
健全皮膚に開放塗布(15uL/cm²)し、6時間後に観察。

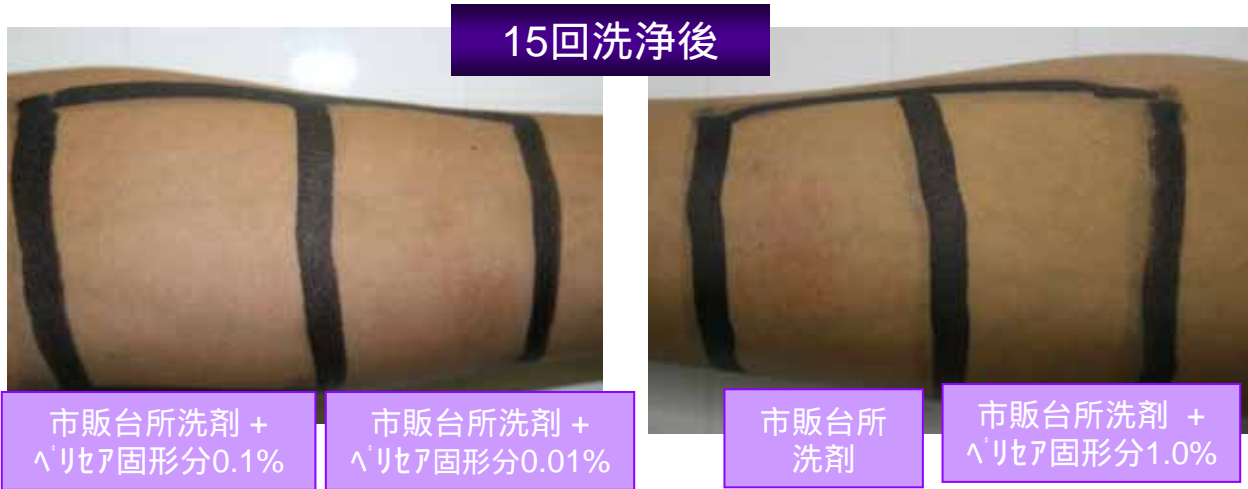
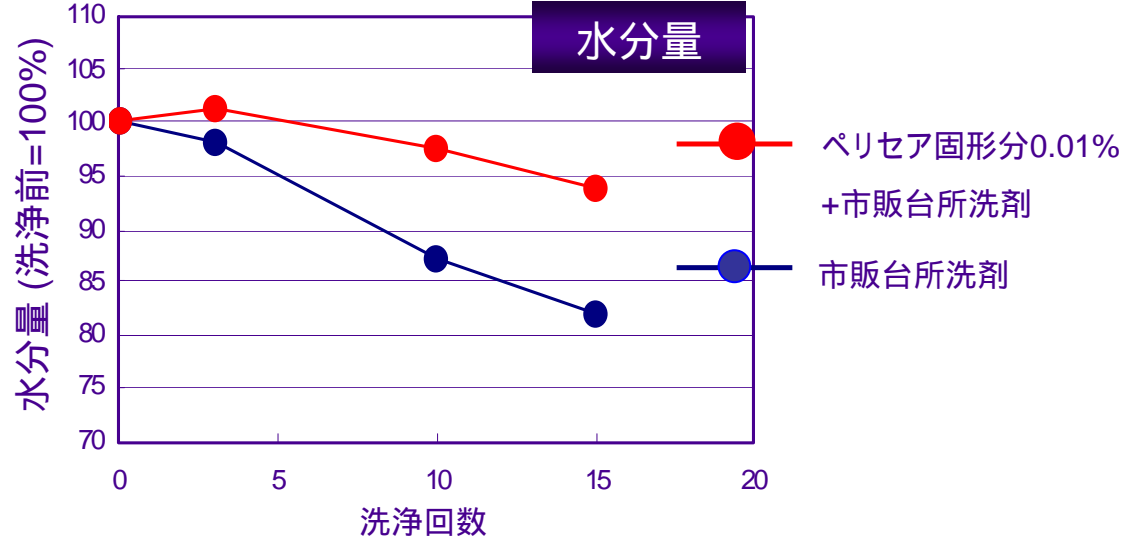
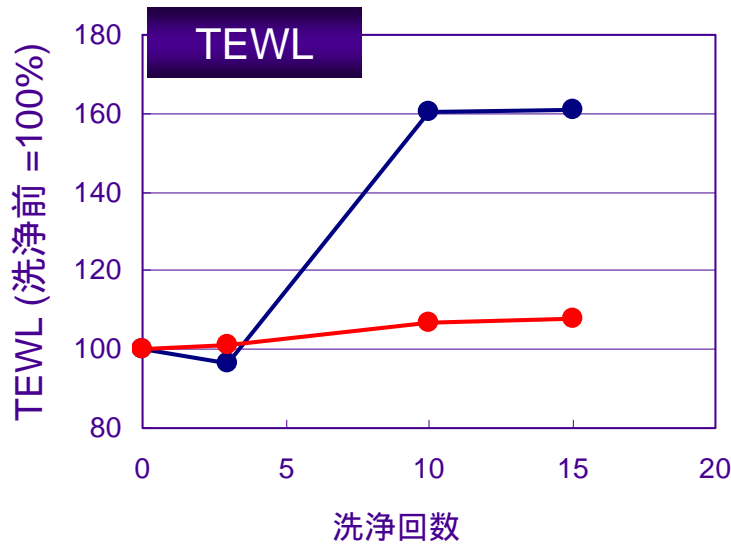
ペリセアは、刺激物(SDSなど)のタンパク変性を緩和する



リン酸緩衝液(pH7)に濃度0.025wt%で溶解したアルブミン(鶏卵由来)水溶液9重量部と、所定濃度の界面活性剤水溶液1重量部とを混合し、25℃で1日、静置してGPCでタンパクを定量した。

ペリセアの刺激緩和効果

ペリセアは、台所洗剤による肌荒れを緩和する効果が観察されています。



各種サンプル(1mL)を前腕内腕部に塗布し、60回擦った。それから30秒間水洗した。この操作を1回とし、3回、10回、15回目洗浄後のTEWL (TEWAMETER TM300 (Courage + Khazaka, Integral Corp.)) 及び角層水分 (CORNEOMETER CM825 (Courage + Khazaka, Integral Corp.)) を測定した。